

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

①施策名〔施策小〕	1 消防体制基盤の充実	②施策番号	1404
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	2 消防・救急体制の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
総合政策部	危機管理課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市消防団及び泉南市民(泉南市内在勤、在学者を含む)
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	消防団員の士気高揚や消防技術の向上を図り、火災やその他の災害から市民の生命、財産を守り、災害による被害の拡大を防ぎ、軽減を図る。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	東日本大震災の教訓を踏まえ、消防団は代替性のない、将来にわたって欠くことのできない存在として位置づけられ、装備の改善、団員確保を推進するとともに地域防災力の充実強化を図るため、平成25年度に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方
①	火災活動出動回数	回	市民の生命、財産を守るため、火災発生時に出動し、消火活動を実施した。
	計算式		
②	消防団員充足率	%	消防活動の功績に対して表彰を受けることにより、団員の士気が高揚し、さらなる消防団活動の活性化が図られる。
	計算式		
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	火災活動出動回数	回	目標値						
			実績値	11	7	7	—	—	
			達成率						
②	消防団員充足率	%	目標値	173	173	173	173	173	
			実績値	173	173	172	—	—	
			達成率	100.0%	100.0%	99.4%			
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	消防団事業	消火活動出動件数	回	7	7	—	38,055	48,090	41,007	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						38,055	48,090	41,007			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	火災やその他災害において、被害を最小限に抑えるために、地域防災力の中核となる消防団の育成と強化を図る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	泉州市条例定数に基づく消防団員数は確保されており、各種研修、訓練への参加により消防技術を向上させることで、迅速かつ効果的な消火活動につなげることができる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	消防組織法により消防団の設置と運営については、市の責務で行わなければならない。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	消防団の活動支援及び他団体との連携については、適正に行っていると考えている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	平成25年に制定された「消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、必要な装備の整備等、消防団の充実と強化を図る必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	「消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防装備の充実や泉州南消防組合との緊密なる連携が必要である。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	消防団員の活動に必要な消防車両や消防資機材の更新と整備計画策定を検討。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	平成25年度の泉州南消防組合の設立に伴い、消防組合と消防団の連携について一部変更が生じていることもあり、連携のあり方や実務部分についての調整が必要である。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	消防ポンプ車、その他消防資機材の計画的な更新。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	施策指標とする消防団員の充足率や火災現場への出動回数から消防基盤の充実が適切に行われている。 消防ポンプ車等の消防基盤を支える資機材の更新・整備にあたっては計画的に進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある